

## 【概要】

## 業態別の住宅ローン新規貸出額及び貸出残高(2021年10-12月期分)

## I 調査結果の主なポイント

- 2021年10-12月期の金融機関等の住宅ローン新規貸出額(借換えを含みます。)は、5兆4,256億円と対前年同期比で2.0%減少しました。

	2021年			(参考) 2020年
	10-12月期			10-12月期
	金額 (億円)	対前年同期比 増減(億円)	同伸び率	金額 (億円)
国内銀行	39,150	149	0.4%	39,001
信用金庫	4,192	△ 58	△ 1.4%	4,250
信用組合	542	23	4.5%	518
全国信用協同組合連合会	0.0	0.0	-	0.0
労働金庫	4,404	△ 197	△ 4.3%	4,601
生命保険会社	208	18	9.6%	190
住宅金融専門会社等	797	△ 216	△ 21.3%	1,012
住宅金融支援機構(買取債権)(※)	4,917	△ 823	△ 14.3%	5,740
住宅金融支援機構(個人向け直接融資)	46	△ 16	△ 26.1%	62
合計	54,256	△ 1,119	△ 2.0%	55,374

※ 住宅金融支援機構(買取債権)とは、【フラット35(買取型)】をいいます。

(注) 四捨五入により、各業態の数値を合計した数値と合計欄の数値が一致しない場合があります。  
また、対前年同期比増減欄及び同伸び率欄の数値と実際の計算値が一致しない場合があります。

## II 調査の概要

本調査は、住宅ローン市場の規模を把握するため、当機構(旧住宅金融公庫)が1989年度から、日本銀行の金融統計に加え、各業界団体等の協力を得て、取りまとめている業態別の住宅ローン新規貸出額(フロー)及び貸出残高(ストック)に関する調査です。

本調査結果の詳細は、住宅金融支援機構ホームページ([https://www.jhf.go.jp/about/research/loan\\_zandaka.html](https://www.jhf.go.jp/about/research/loan_zandaka.html))に掲載